

【小論文】

別紙、加藤周一『日本文化における時間と空間』（岩波書店、2007年）中の「第三部 『今＝ここ』の文化」「第一章 部分と全体」（同書、233－238頁）を読み、設問に答えなさい。

設問1 傍線①において筆者は、日本の文化的特徴の一つとして「時計の針のように循環する時間」という考え方をあげているが、西欧社会にはこれと対立する時間概念が定着している。それはどのようなものか、簡単に説明しなさい。

設問2 日本文化の中で「時間」の典型的な表象として、筆者が主張する「現在主義」「現在集中主義」とはどのようなものか。

設問3 筆者によれば、日本における空間のとらえ方は、国際関係への対処にどのような影響を及ぼしてきたか、その内容を略述しなさい。

設問4 筆者は、日本には「今＝ここ」文化が根付いているとしてその根拠を述べているが、このような筆者の考え方に対するあなたの考えを述べなさい。

※別紙として、加藤周一『日本文化における時間と空間』（岩波書店、2007年）中の「第三部 『今＝ここ』の文化」「第一章 部分と全体」（同書、233－238頁）を筆記試験時に配付しました。